

令和7年度 学校経営計画書

学校番号	3	学 校 名	静岡県立稲取高等学校	校 長 名	森 泰博
------	---	-------	------------	-------	------

1 スクール・ミッション

地域に根差した地域と共にある高校として、多様な進路希望に応じた少人数教育と、地元行政や企業、地域で活動する大学等との連携・協働学習を通して、自らの将来を切り拓く力と、東伊豆地域の今と未来に主体的に関わり、地域社会に貢献できる人材の育成を目指す。

2 目指す学校像

(1) スクール・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー
「自己を律し、他者を大切にする」力の育成 ①「自己管理力」・・・一歩前に踏み出し、失敗しても粘り強く取り組む力 ②「人間関係調整力」・・・他者を尊重し、多様な人々と協力する力 ＜育てたい資質・能力＞ 規律性：基本的生活習慣を確立し、社会のルールや他者との約束を守る誠実さ 協調性：他者を認め、思いやり、誰とでも協働できる力 チャレンジ精神：得意なことだけでなく、苦手なことにも進んで取り組む力 忍耐力：困難なことにも諦めずに、最後までやり抜く力
カリキュラム・ポリシー
・多様な進路に対応するコース制と興味関心に応じた幅広い選択科目の設置 ・個に応じたきめ細やかな支援を可能にする少人数・小集団授業の展開 ・基礎基本を重視するとともに、他者との協働や発表の場面を取り入れた主体的学びの実践 ・地域行政・企業・大学等と連携したキャリア教育と、地域をフィールドとした探究的学びの実践 ・自己を鍛え、仲間とともに高め合う心や社会貢献の姿勢を育む部活動
アドミッション・ポリシー
・自ら進んで学習に励み、より高い目標に向かってチャレンジしようとする生徒 ・学校行事、部活動、地域との交流等に積極的に参加し、自分の可能性を伸ばす意欲のある生徒 ・学校生活を通して規範意識を高め、仲間を大切にし、ともに成長したいという意志のある生徒

(2) スクール・ポリシー具現化の柱

- ア 高い志を持ち、日々努力する姿勢を育むとともに、志望に応じた進路実現を図る。
- イ 基礎学力の定着を図るとともに、ICTを活用する等、個別最適な学びの研究・実践をする。
- ウ 豊かな人間性と人権意識の育成を図り、生徒が主体的・協働的に行動する教育活動を実践する。
- エ 基本的生活習慣を確立し、規範意識を醸成するとともに、たくましい心身を育成する。
- オ 生徒の安全意識の向上を図るとともに、安全・安心な教育環境を整備する。
- カ 地域との連携を推進とともに、地域・家庭への積極的な情報発信を図る。
- キ 働き方改革の実現に向け、教員の意識を高め、効率的な学校運営を目指す。

様式第1号

3 本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当
ア	高い志を持ち、日々努力する姿勢を育むとともに、志望に応じた進路実現を図る。	・地元行政・企業等と連携したキャリア形成 ・進路ガイダンスを通じた体験学習や進路だより等の情報提供の充実	「進路や将来の生き方についての考えが深まった」と答える生徒 90%以上	進路課
イ	基礎学力の定着を図るとともに、ICTを活用する等、個別最適な学びの研究・実践をする。	・学び直しから段階的に基礎学力を定着させる指導の徹底 ・小集団編成によるきめ細かい指導、ICT を活用する等、個に応じた学習及び学習習慣確立の研究・実践 ・学習意欲を高め、学習習慣を促進する指導の工夫	「先生の授業がわかりやすい」と答える生徒 90%以上	教務課
ウ	豊かな人間性と人権意識の育成を図り、生徒が主体的・協働的に行動する教育活動を実践する。	・学校支援心理アドバイザーと連携した人権教育の実施 ・学校行事を通して、周囲と協力し主体的に行動する力を育成	「学校に居場所がある」と答える生徒 90%以上	生徒保健課
エ	基本的生活習慣を確立し、規範意識を醸成するとともに、たくましい心身を育成する。	・生徒の目線に沿った組織的生徒指導の実現 ・面接やアンケート調査を通した「目と手と心の行き届く」支援 ・外部との連携による規範意識の啓発	「基本的生活習慣が改善された」と答える生徒 90%以上	生徒保健課
オ	生徒の安全意識の向上を図るとともに、安全・安心な教育環境を整備する。	・生徒が主体的に参加する防災講座や防災訓練の実施	「防災講座で防災意識が高まった」と答える生徒 80%以上	総務課
		・施設設備の定期的点検及び迅速な対応	「学校の施設設備は管理が行き届いている」と答える生徒 70%以上	事務部
カ	地域との連携を推進するとともに、地域・家庭への積極的な情報発信を図る。	・授業、学校行事、部活動等で地域活動への積極的な参加	「本校では地域との連携が積極的に行われている」と答える生徒・保護者 90%以上	生徒保健課
		・幅広い年齢層に対応するため、様々なメディア活用による積極的な情報発信 ・コーディネーターの協力を得て、地域課題について探究を実施	「情報発信を積極的に行っている」と答える保護者 80%以上	総務課 探究
キ	勤務時間管理に対する教員の意識を高め、効率的な学校運営を目指す。	・時差勤務（夏季休業期間）の有効活用 ・総務事務集約化、校務分掌の見直しに向けての研究 ・休暇を取得しやすい職場環境 ・定時退勤日の設定	年間 5 日以上の子休取得 100%	管理職